

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小湊 由香里
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3380
事務事業名	7725 地域医療福祉ネットワーク推進事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010200 医療体制の整備						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040101 衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費					
	事業	040000 地域医療福祉ネットワーク推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
住民が住み慣れた地域で安心して健やかに生活できることを目指し、地域医療福祉のネットワーク構築を推進する。				須高地域医療福祉推進協議会に専門委員会を設置し、感染症及び大規模災害時の医療体制整備、医師・看護師不足、在宅医療福祉などの課題について取り組む。感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供によりインフルエンザ等の感染症の拡大防止に繋げる。情報共有システム（在宅安心ネット）の導入により在宅医療の24時間サポート体制（須高在宅ネットワーク）を提供する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ・ 在宅医療連携拠点事業の取り組み（須高在宅ネットワーク体制構築、在宅医療安心ネット導入、リビングウィル作成、在宅療養者への発電機貸出し等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ・ 在宅医療連携拠点事業の取り組み（須高在宅ネットワークの運用、住民への普及啓発、支援者のスキルアップ研修会の実施等）
平成26年度 予定	平成27年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ・ 在宅医療連携拠点事業の取り組み（須高在宅ネットワークの運用、住民への普及啓発、支援者のスキルアップ研修会の実施等） 	

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		7,489	8,897
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	4,956	6,390
	地方債	0	0
	その他	674	667
一般財源		1,859	1,840
人員数(人)	正規職員	1.0	1.0
	嘱託職員	1.6	1.9
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,858.0	6,858.0
	嘱託職員	4,360.0	5,177.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	11,218.0	12,035.5
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		18,707.0	20,932.5

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	310	各種研修会等講師謝礼 等
11節 需用費	686	研修会資料作成用消耗品、自動車燃料費、須高地域医療福祉を考える集い 広報用ポスター・チラシ等印刷製本費 等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,493	嘱託職員報酬・社会保険料、旅費、役務費、使用料及び賃借料

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	300	各種研修会等講師謝礼 等
11節 需用費	478	研修会資料作成用消耗品、自動車燃料費、須高地域医療福祉を考える集い 広報用ポスター・チラシ等印刷製本費 等
13節 委託費	500	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	7,619	嘱託職員報酬・社会保険料、旅費、役務費、使用料及び賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	在宅医療連携拠点事業については、高齢化が進む中で医療費削減や病院の機能分化等の観点から、国においても在宅療養の方向性を示している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	今後の高齢化多死社会を見据えたとき、在宅療養、在宅看取りの体制整備や住民に文化を広げることは有効。長期的視野で進めていくべき課題。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	平成24年度は国、平成25～27年度は県の補助を活用して事業実施。 (補助が終了した時点で使用料等を受益者の一部負担で実施できるよう、体制を整備し関係機関と調整する必要がある。)	

振り返り（決算年度の取組み課題）

感染症早期探知システムにより日々集積している感染症情報について、より有効な情報発信を考え住民及び関係機関に情報提供する。
在宅療養24時間サポート体制について、医師会等関係機関と連携して運用の充実をはかる。
多職種の顔の見える関係づくり及び地域の課題抽出の場として、第2専門委員会や学習会・研修会をより充実したものにする。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

須高3市町村の取り組みであり、3市町村や各施設など関係機関との連携を図りたい。事業、予算については、3市町村の負担と、補助金をあてている。

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
-----------	-----------

2次評価コメント

2025年に向けて求められている、医療・介護連携体制が県の補助事業期間中に、須高地域において確立されるように、関係機関と連携を図り推進していく。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--